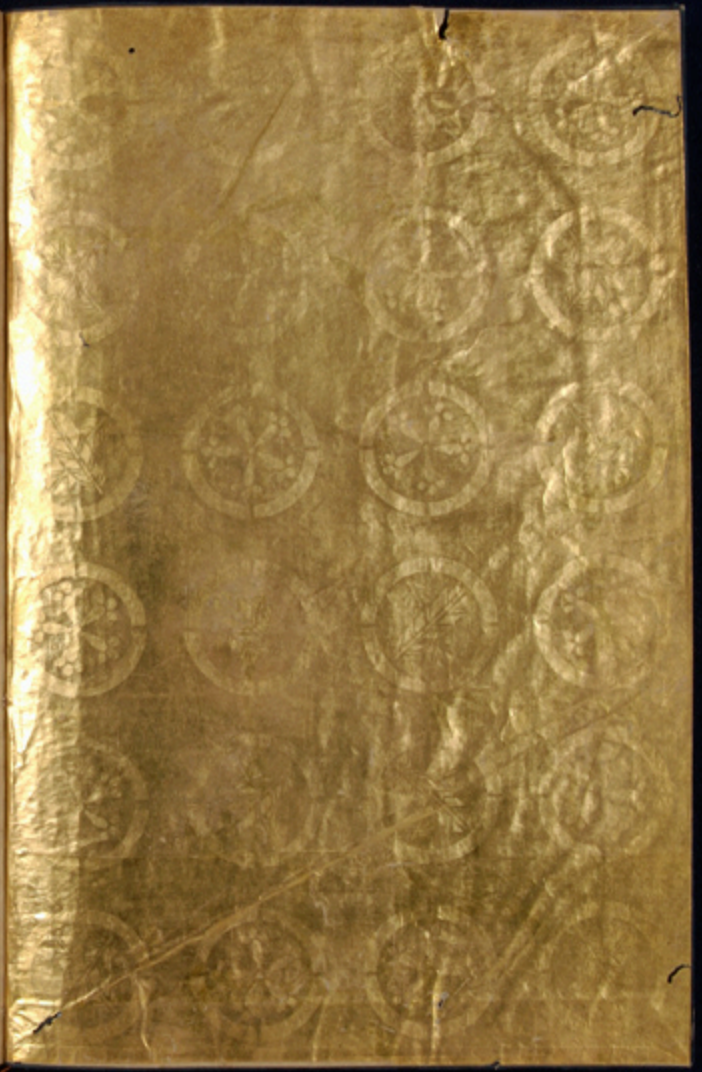
法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-05-09

反古裏之書第一冊

能研
2154
(1)



書名　物の名花　氏信著ト云

物ノ[illegible]

一天ハ[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

よこをりかへしをりかへし候へとも人によるへき
御心得候

一　女房ハ小袖なとの上にも帯をしめて候へく
うけかくし申へく候てうしも候へき
小袖すそにかけて候もはや物也是を
とゝめ物也しかも御前の其物はけしからす
の事にて候物ハいろ〳〵候然るへき物也

さて御帯あわせ候て色あるハよろしく
候ハ有ましく候されともとかく候へし

一　帯の事ハ男女ともに御帯有へし頭
白もの物の帯をすへし御事にも御帯ハ
ありけるに小袖をゆるし女の代よりも
半ハ年の次天女にハ常着し給ふ小袖
またこの也

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

行事[illegible]事也

一 [illegible]事[illegible]事也[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一少神と大口しかんぬらの[illegible]

[illegible]

一[illegible]の[illegible]小神とひさろ[illegible]

て[illegible]神と[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]の[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一神の[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一面のかく二ひとしひとして中へたちを
そそそとひとの面へはくりを面のを
ひしりくみの面へかせくらりてこちらを
せうこちかたちらく方へかすくハひくさ
さらくかたらし
一時雨すの方せらハ風のはくの時ハ方せ
ちりかそうしかのかりめとりてらしさい

ひハちりとの面へてけとりてけ
一ちりのけやう方とまりかたくちりと
すくかやうひとふ面へつれかくハちりう
方せとかたこりくちりて
一扇こ事　いかしかたこいこかこ方せて
らしきしりかくこ事の方すの扇
よハちりかして方かのけまとりの面へ

大事のられハ扇のうらを表ニ入ようこ
せて可申候ハ扇をひらけてこと〻ろ也扇
をうらをかぶせてハ可申候ハ
ものしらぬ扇也

一扇ひらかぬハ心をこゝろのうてひらけ
申ハ扇ひらけぬと時と申候ハ
すこせと也

一ものをハ扇をうてこゝろ
はしらして扇ハ用ひ申せ中断を
ハ時扇ハ武士の事也扇の骨
ハ八本ハ四季の骨ハ一也たのもし
ものハ引ハ扇ハ引ハ
事の是也

一扇をうて扇と為ハ用て可申

[illegible]

一風の次第、廊とうさうしてうつ[illegible]
[illegible]

一面の事、[illegible]

[illegible]

[illegible]

一面と人[illegible]

[illegible]

[illegible]

みをは御すり新作の面々に渋めとして初と
申てはこのおりふしまゐらせ候ふを御せんへく
面もちろんとてちかみハちろんといれかとれ
わかみハかといれ候ふみを御せ話にて御まく
あすの日の世一大事の御世
一 はへるに物もかハ流をつれ枝もとらする
御やうきよろしきものあり所もそろしく入ぬ

御来也はへのきれをきのこまりてまくはくして
又しまうれ候もまへにさくまのこり令ぞ
入ぬ申し
一 うらふ前下かすのは志ハ見しくちれをよ
云ふしく々もんハ申し
一 うら枝ハきのこ見しらてそ申し この世
はへも見しうけ候くよりさそうて見へく

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

也

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

一作物[illegible]

[illegible]

八[illegible]

一もちはなつつみの物にもろ白をさらう肴或
のふたへのせてかりまで盛付ゆへよくのす
きもり白れあけてうけ候まてさうくと
あるなり産の祝におゐてもつゝあけとく貴
人の御前にの出陣にハ乗ニ入てハまうくと是
あるなり

一久しいりの事ハや祝さうゆへ入念の次
くわんてうたつ事の次第難後を念の事
まの恐をくの事 并に祝りの事 とう
御事ある念の次 久しいきふて 并にとうし
まりて人にハあって わき次第物也 むしとう
物れ上下ハ久しいりとり申様の物之まくれ
とりとりを申とて 理るはつみ重たこれ
とらを念の次 一切の事に書八箇條にて

あり行ハ中のつまり声位のくすまいを
まつ見えたる刀と中よハ元行よみとる
もくとあるゆり等すみ役り也此等忘
元陽とさきよすみあり次声位の定
かれわきとらくすへハ陽とつ去くありる益
身もハきりよすりとも日比の身かきにほるへ
ろ行ぶあり自ら次すくいつおりしやほ

やらとつみれ声よさつきくとあり也是肝要
りつて
一 朝そのはらひくきらる也面ららくて声よさ
のつらき八声よさらりくと見おりしかハし
此おりそはらきえらり八如く声よさ次如納也
向かれの声しすみ人らる也望そハららく
けつ二八ほらきとりしとする也 祖父権作此

事と言ふべし一也也てこれ成れ生ず
きりて和このわざとつくりけて方と言ふ
命

一初仕のやうをしるとは行ふ所にて
つくりすりくもてしらく仕ひ成て見
物所と今としてかつくるを廣つふ命
ふ命ふ次切り命ふとをしらつて

度ふ命一法しる宇義の間方と伝ふ命
一所の方かと人をふをあらくわを
所かかりて相をふ所をかつをす一天事
と思ふ人しお入をけを八見ふ一を迎をく
ふとつけて毎一ふ命一所の陽をす
ををふられかふ命ふ次見と大事に学人を
ふ人に所けい二を迎命ふ教命一ふけ

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一水のさいかう方へ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一又[illegible]

[illegible]

ハおもしろきハなきにあらねどもいつも坂東執筆
まうち也四あまりハつゝしむ也四もハいまゝねと云
京よハいかねとされともいかねるやといふ不ぬ
のる謂と云いぬかものいぬハいさゝかと爵時
ハみな四おもり也是をもつてうの吟を
ちりあるし上てよいれて其ろのすゝみ
おもりかとする事あるなれ字よいれて

上の字の事りすゝみ事あり是又
新人の物数の事也能を嗜む事ハよく信る
てたつも能をよしすれ者の体くるハよう
能とたつさの者の体ふうきてしかして
たえもら続しるともしも人なるぬ也
能ハ音曲よりおもちかれてふ物とよきて
ハ能せらぬ物也音曲能のたちやおもう

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一物のこゝろ絵の食しの元ちなのこと

一所八文字のこと

一[illegible]の隅をつゝて所とする事

所ちがひの事

一初習ひの事 如半

一所ちがひ前後する事半

一[illegible]所俄所ちがひしてこの半

一人の取り分ゝ言葉つゝ又ゝ[illegible]

[illegible]事

一扇ちがひ

一六日ちがひ

一[illegible]又時所ちがひと云ひと[illegible]半 [illegible]

て立置申
一[illegible]
一車小の[illegible]人前[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一車[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

大事也尚世間めきてあり猶大事也人に
くらゐれ句をみなくさし所に宜か
よりや候てして句をとりなをし候
し候ことさら面白くしてにほひ事ありて後
の句をたしかにしてあつしらはいまて
なし初心の人のたとへにさしまかせ大事
也不備よ似あひたる句を案するに大事

志ある事あり又物を尋ね申し候はゝ御尋し
一 句ありの心持たゝ数寄事をすへて候
ときくみえしと思ふ人もあり又こゝろを首人
面白て心ち事とて是らしと云人も
あり我をこゝろ力たゝかりて人よみたしと云ふ人も
ありてこゝろうくと人はさそわれてさう人も
所を入れて是を一句にあらしてその日の句を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一歩人の時前代使ひ来る人の口よりつたへ
しる処部屋なるの使ひ処の人のうろよか
ぬかるよう命ずる方角を人をふ
命ず何事ともつたへ事ハかれ
ども方角に応じてもつて命ず

一使ひ処にてうろうろする処を見かけ
たる方角をたづね命ずる部の事

の使ひ方部屋田畑部屋吉野なども
みな命ず方部なるの使ひ部の事
をかるみなるもつてつたへしめ
必ずしらつて方角うろ事あるべ
命

一使ひ方の事うろ初めよりてうす
さうしの用ゆるうろ使ひ方ぬ時

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一拍子
一三三式の事
一拍子
一人は宮ゐとうとうとうの事
一拍子
一面のそれぞれ
一足ゐうて面事
一拍子
一扇丸ゐとうの事
一人の所作の中に扇をとりて拍子

とうとうの面一所の場合に面をとり
て扇ゐて拍子をはくはくはくの次
第扇をとりて拍子をはくはくはくの
とりをとりてすてはみたこゐゐう
ゐうれゐ面をとうの也
一人の所作の中に扇拍子をとりて
打てとうとうとうとうの也いつ

うまくくらう事也

一 物語ニ云言人膳宮商也八何事ニ其先

ちう倍着若人又於ノ也ゐる其もの

て倍人をへし則上下ほ奴也昔ハとく

自上下ほ奴也人又若ハさくめし商也ハ下ほ

奴也人よりて若人拍是ハ倍人を倍

指をし上下ほと同中ノ拍人也月ヲ耳をきゝ

ぬる拍人也ニ其よりゐ半をうくく

ゆくしと伶ノ也拍しつゝ心得

金八郎

秦昌（花押）

金春家所出於秦河勝
歴代秘曲傳家督一人而其
他庶子傍孫遂不能窺
閫奥於萬一矣雖然如是兄
七郎氏勝不幸而早世

故老父家傳之秘奥相續
而欲傳之子々孫々而以弐
萬世老家秘曲教授於
我所令相傳也今又汝家
傳秘曲不遺所令教授

也莫大之断絶矣

内宴二年丙申

二月十七日

竹内[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

祥鳳習道日鈔

能研
2154